

令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

八幡カトリック幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の愛の精神に基づき、幼児一人ひとりがかけがえのない存在として人格を尊重し、モンテッソーリ教育によりあらゆる活動を通して自主自立を養い、円満で調和のとれた人格形成を援助する。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

◇年間目標「思いやりの心を育む」

【1学期】

- 一つひとつを丁寧に言い周りの人や物を大切にする。
- 自分の事を自分でする。
- 周りの人に挨拶をする。

【2学期】

- 色々な事に取り組み自信をつける。
- 自分や周りの人の良い所を見つける。
- 自分からすすんで挨拶ができるようになる。

【3学期】

- 自分の事だけでなく、相手の気持ちも考え、思いやりを持って行動する。
- 一日一日を幸せに過ごせる事を神様に感謝し、心を込めてお祈りする事ができる。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
思いやりの心を育む	A	縦割り保育の中で助け合う経験をつむことにより、困っている人に積極的に声をかけることができる。
自分からすすんで挨拶をする	B	先生やお友達とは挨拶する事ができるが、来客の方に対しての挨拶が消極的。
危機管理	B	出席チェックやバスの安全管理は徹底して行っているが、門の鍵などに対して改善する必要がある。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	園の教育方針に従い、モンテッソーリ教育を通して幼児一人ひとりに目を向け、日頃の保育を行うことに努めている。又、ホームページを通じて園の様子を発信できた。園庭での活動における「ひやり、はっと」に細かく目を向け安全管理を行っていく必要を感じる。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
安全危機管理	昨年度に引き続き、達成していない部分での見直しや、危機管理の共通理解を行う。
特別支援教育	サポート園として、研修に参加し個別の指導計画や環境づくりに努める。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- 園の教育目標にあるように、子供達をかけがえのない存在として尊重しながら、キリスト教の精神、モンテッソーリ教育を通し保育をしていただいている。ただ、園児の保護者達により普段の園児の様子や、活動、取り組みを知らせる工夫が必要だと感じた。それぞれの家庭において、園での生活を共有し、親子の深い交流を促せるような発信が求められる。